

迫公民館 6月5日(火)

区 分	内 容 (質問・意見)	回 答
議会広報 議会HP	議会の採決結果を、議会だよりに○×で記載しているが、ホームページに載せているか。少数意見は載せているか。貴重なので載せてもよいのでは。	ホームページへも各議員の賛否を掲載することは現在、検討中です。
請願 政務調査	議会改革で登米市は東北で第3位とあるが理解できない。過去に請願者が、議会で説明する機会があったのか。どのような手続きで請願するのか。内容精査はしているのか。政務調査は報告するのか。ホームページで公開しているか。	<p>本年4月1日に議会基本条例が施行され、議会改革が進められています。</p> <p>請願については委員会により審査されますが、説明のため紹介議員のほかに請願者にも、必要に応じておいでいただいております。議会基本条例では、必ず説明の機会を設けることとしました。</p> <p>請願については、紹介議員が必要で、その分野ごとに常任委員会に付託され、そこで審議されます。</p> <p>これまでに採択された請願は、毎年、市からの経過報告を受けております。</p> <p>政務調査費については、前年度の交付額については、ホームページに掲載しております。なお、報告については、議会事務局で閲覧できます。</p>
災害復旧	議員の皆さんは震災で壊れた場所、現場を見ているか。地域の事は区長が一番わかる。	<p>(会場での回答のとおり)</p> <p>特別委員会を設置しており、各委員会ごとに現場を見ながら調査活動を行っております。</p>
行政視察	議会改革が進んでいけば、議員研修に行く必要なし、登米市に来てもらうように	<p>議会改革とは単に経費削減を行うものではなく、開かれた議会・市民参画・政策立案を目指すものです。</p> <p>議員研修や行政視察は、先進地の施策を調査し、本市と比較したり、市への提言を行うことにより、市政に反映させていくもので、必要性も高いと考えます。</p> <p>また、他の議会からの行政視察については、年間20件程度が来ております。</p>
学校施設	佐沼小学校の完成は。	平成25年4月までに間に合う予定です。
災害復旧	佐沼錦橋の補修、修理は。	県では、迫川の非出水期の10月頃より工事に着手し、H25年3月に完了予定として災害復旧事業を実施するとのことでした。
災害復旧	県道や市道、下水マンホールが隆起したまま、砂利を敷いた状況だが。	<p>現在、碎石で補修している箇所については、アスファルトによるすり付け補修を予定しております。本格的な復旧には、マンホールの下の部分から直すので時間がかかります。</p> <p>また、業者の方々は震災対応の遅れで手が回らない状況で、入札不調もあります。</p>
災害復旧	マンホールはなぜ液状化現象になったのか。	<p>山砂を使用して埋め戻し舗装したため液状化したと思われます。今回の復旧は改良土仕様で、盤を作り液状化にならないようにします。</p> <p>また、上下水道管の併設が多いため被害も大きくなりました。水道管はダクタイル管にして、地震に強いものにしていきます。</p>

区 分	内 容（質問・意見）	回 答
河川改修	大東地区は雨が降ると床下浸水が常である、改修を望む。	長沼川改修工事（県工事）完了後に市の事業着手となります。
排水施設	津島神社から南方方面への排水路が機能してない。もっと大型化して早急な解決を願う。大網西の区画整理の時設置したので、市の事業ではないのか。	長沼川改修工事（県工事）完了後に市の事業着手となります。
観光施設 河川改修	長沼を考える会より。長沼八景の標識が見えない。長沼川については、県に陳情した経緯がある。機関場は24年に10億円かけて着工するそうだ。早手を付け橋も着工する予定と聞いている。	産業経済委員会）長沼八景については、現地を確認しながら、調査研究を行います。建設水道委員会）長沼川の河川改修事業については、県の工事なので回答できる立場にありませんが、現状については、市から宮城県に確認したところ、H24年度～H26年度の事業として迫川との合流地点に排水樋門の新設工事を行う予定とのことです。
病院事業	病院会計、不認定なのに、その後の経過等はどうか知らせるのか。	一般会計から19億2,700万円繰り入れしています。国からは8億円強きているので、実質11億円強の支出となっています。多いという人、少ないという人、思いはいろいろあります。
病院事業	病院会計が2年も続けて不認定なら会計報告はいらないのでは。不認定なら繰出しをしないのが普通である。不認定したのにまた予算をつける事はおかしいのでは。	予算計上しないと、病院経営上、支障をきたすこととなります。黒字になるよう経営を頑張ってもらいたいという願いを込めて不認定としました。
病院事業	市民には病院運営を、知らせる必要があるのでは。	その通りであり、報告しています。
病院事業 震災対応	震災でよねやま病院を志津川病院に5年間貸したが、貸さなかったらどうなったか、市民には知らせる必要があるのでは。	志津川病院を津波により流失した南三陸町にとって、入院機能を確保することが急務でした。隣接の登米市が協力するのが当然であり、旧米山病院の病棟を無償貸与しています。このことは、南三陸町からは大変感謝されました。また、「広報とめ」に掲載し、市民へお知らせしています。
病院事業	米谷病院はどうなっているか、市から切り離す方向から、うやむやになっており、改革プランからはずれているのでは。	平成27年まで病院として存続します。診療所にはならないと思います。当面、3病院で続けるようになります。
コミュニティ	市へ何度も要望している件だが、町内会費の徴収が難しく50%は不可能だ。貸家が多くてほとんど協力が無く、区長会でもコミュニティ運営上問題になっている。 住宅業者と家賃をもらう取決めをしている所もあると聞くが、業者をお願いしたら断られた。市で条例を作るとか、業者へ手当を出して徴収できないか。	貸家やアパートの多い地域での、町内会費の徴収や地域行事への協力などの問題については、行政として関与することは難しいものと考えます。
集会施設	集会所が老朽化している。コミュニティセンター、生活改善センター建設についての補助はないのか。	上限300万円の集会施設整備の補助事業があります。
集会施設	大網地区に避難場所や体育館みたいなものが必要だ。	市では地区集会施設については、登米市集会施設整備事業補助金（交付限度額300万円）等を活用して、自治組織により建設していただきたいとのことでした。
都市計画	都市計画マスタープランは25年までの計画のようだが、遅々として進まない。ど	進捗状況の確認は、常任委員会活動の中でしていきます。

区 分	内容（質問・意見）	回 答
	<p>のような議論をしたか。また、計画の検証はしているか。</p>	
<p>学校給食</p>	<p>西部給食センターを南方に作っているが、3,600食の必要はあるのか親に説明がないが。学校給食で登米市産の食材は1割程度しか使用してない。まだまだ使うべきでは。</p>	<p>迫、南方、米山の給食センターは老朽化しているので建設の必要がある。食材の地場産利用やアレルギー対策において、きめ細かな対応ができることになっている。</p> <p>保護者に対しての説明は、教育委員会が数回行っている。</p> <p>登米市産の食材は、現在15.2%であるが、平成27年度までに25%を目標に取り組んでいる。</p>
<p>商店街</p>	<p>大通り、一市商店街、商人は大変である。法務局跡地を利用して市民広場的なものにしては。</p>	<p>跡地利用については、しっかり検証していく必要があります。</p>
<p>商工会</p>	<p>商工会館の土地は市、建物は商工会の所有があるが、市で早期に解体してもらいたい。お祭り広場に利用したいので、夏祭り前の解体を望む。</p>	<p>東日本大震災により被害を受けた登米中央商工会の会館については、登米市被災住家等解体事業を活用して、夏祭り前に支障のない状況まで工事が進捗し、平成24年8月27日に解体を完了しています。</p>
<p>産業振興</p>	<p>登米市産業会館なるものを早めの建設を要望する。</p>	<p>商工会の合併が実現したときに、事務所機能などを備えた「会館」が必要になると考えており、その際には市の支援が必要であると認識しています。産業会館についてはさらに規模の大きいものが想定されるので、その必要性も含めて調査研究します。</p>
<p>商工会</p>	<p>都市対都市で物を売る時代であり迫とか中田でなく登米市全体での売り込みが必要。市内にはいまだに3商工会があるが、行政指導で1つにして、「登米市商工会」としての物を売る取り組みが必要。</p>	<p>商工会の統合については会員の意識を踏まえた商工会の意向が重要であり、慎重に検討したいと考えています。</p> <p>さらに今後、物産販売については、調査研究を行っていきます。</p>
<p>子ども園</p>	<p>子ども園など、少子化対策の一環として、あずかり場の充実を。</p>	<p>さらなる保育環境の整備を図っていきます。</p>
<p>木質化 地産地消</p>	<p>会社独自で「木育広場」を作る。子供たちに木を使うことを教えることが大切であり、市としても木に馴染む施策が必要。地場産品の木材利用を進める施策も必要。</p>	<p>地域産木材の利用、地域材需要拡大支援事業の実施など、木材の需要拡大を図り、地域林業及び地場産業の活性化を推進していくよう提言していきます。</p> <p>なお、木育ひろばについては、調査研究を行います。</p>